

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和5年12月

（1）次年産マンゴーの安定生産に向けて技術交流

12月12日、和泊町で生産者及び関係機関約50人が参加し、沖永良部果樹生産組合のマンゴー研修会が開催されました。町内の2園地で収穫後の栽培管理や花芽分化期の生育状況を相互検討の後、役場で組合の視察研修報告（沖縄県石垣島）と当面の栽培管理のポイントや着花向上対策に係る研修・意見交換を行いました。研修会には、徳之島から生産者等10人も参加し、両島のマンゴー生産者同士の技術交流が図られるなど、次年産の安定生産に向けた有意義な研修会となりました。



（2）露地ユリ「凜」に期待を寄せる

12月6日、和泊町の3人の生産者ほ場でテッポウユリ現地検討会を開催し、生産者及び関係機関の11人が参加しました。このうち一人の生産者は、露地生産が可能である「凜」をフラワーネットなしで栽培していました。生育状況は、強風による多少の曲がりがありましたが、比較的良好なことが確認されました。今後、防風対策等を改善していくことで、フラワーネットのない栽培も可能となることが期待されました。今後も、テッポウユリ生産安定に向けた支援を継続していきます。



（3）トルコギキョウ研究会が安定生産や販売について学ぶ

12月1日、沖永良部花き専門農協で、東京の花き市場担当者を交えトルコギキョウ研究会の研修会が開催され、14人が参加しました。最近増加している自家育苗や本ぽでの生育状況、市場の最近のトレンドを含む販売状況を学ぶことができました。その他2か所の現地検討を行い、スリットマルチ、クロゲハナアザミウマ対策、LED照明による安定生産対策について、熱心に意見交換を行うことができました。今後、生産者の資質向上を図るため、1月に徳之島で産地間交流を行う予定です。



(4) よろん和牛女子が島内研修で畜舎訪問し情報交換

11月30日、与論町でよろん和牛女子会員10人及び関係機関3人が参加し、「よろん和牛女子島内畜産農家視察研修」が開催されました。研修では、60頭の大規模経営と8頭を1人で管理している2か所を視察しました。それぞれの自給飼料の確保状況や子牛への給与方法、分娩時の工夫、敷草の方法や牛舎の構造などについて、現地で具体的な情報交換が行われ、有意義な研修となりました。今後、よろん和牛女子の活動を通じて様々な支援を進めていきます。

